

今年もみんなでこいのぼり作りしました!

今年も恒例の「こいのぼりづくり」を、中島屋織店様のご指導の下、5/23(土)～24(日)に開催いたしました。ゲストは国際協力機構(JICA)中部国際センター(CBIC)からメキシコ人研修生が9人、お隣の北名古屋市にある名古屋芸術大学からイギリス人留学生5人、タイ人留学生4人の合計18人です。

CBICは本年3月に名東区から名古屋駅近くのの笹島地区へ移転しましたので、移転後初めて当協会の行事に参加することになりました。またメキシコで流行中の新型インフルエンザが懸念された時期でもありましたが、「メキシコ人研修生は3月に来日して日本各地で研修を積んでおり、来日後の健康状態に問題はない」とのことでしたので予定通り決行しました。ただ参加希望者が予想より多く、CBICからの参加者9人は岩倉でホームステイ泊でしたが、名古屋芸大からの参加者は2日間とも自宅から通ってもらうことになりました。

当協会の「こいのぼりづくり」に毎年ご協力をいただいている名古屋芸術大学国際交流センターの川島さんからの声をご紹介します。

<川島さんより>

私はかつて20年間程岩倉市に住んでいましたので、五条川沿いについては桜のトンネルの季節のみならずお祭り(山車)や市の行事について強く人懐かしい印象を持っており、現在も見守っております。当時は偶然出会った留学生や研修生達を先ず自宅に招待し、更に五条川沿いを良く案内したものです。岩倉市の『こいのぼり制作風景』は何時も遠くから楽しみにして眺めておりました。

何より誰よりも岩倉が大好き!なのは現在においても変わりません。自信を持って岩倉の良さを来訪の人達に紹介が出来る!そして一緒になって楽しめる。今回も名古屋芸大からは9人が岩倉市でお世話になりましたが、皆作品を仕上げて成果を十二分に上げた事と察します。heart心に『大きな耳』を持って彼らを受け止め今後尚一層努めて行きます。



こいのぼりづくりに挑戦する外国人のみなさん

日本人は忙しそう！今は私も…。～エステラ先生に聞く～

4月からAETとして市内の中学校の英語の授業に参加されている岩倉市の国際交流員のエステラさんにインタビューしました。聞き手は岩倉中学1年生の川口京香さんです。

Q.先生はどちらの国からいつ日本へいらっしゃいましたか？

A.4年前にアフリカのブルンジと言う国から来ました。

Q.ご家族は？

A.主人と名古屋の小学校に通っている6年生の娘、4年生の息子と4人です。

Q.ブルンジでは何語を話しますか？

A.キルンジン語とフランス語。今では英語とスワヒリ語も学校で勉強します。

Q.家族は何語で話すのですか？

A.4人だとキルンジン語です。子どもどうしでは日本語で話しています。

Q.日本の第一印象は？

A.みんな忙しそうだなって思いました。でも今、仕事を始めたら私も毎日が忙しいです。

Q.日本へ来てうれしかったことは？

A.来たばかりは日本語も分からず困ったけど、友達もたくさんできて、今はとてもうれしいです。それにこんなお仕事もできて本当にうれしいです。

Q.岩倉の中学での感想は？

A.生徒と先生がとても親しいことに驚きました。ブルンジでは考えられないことです。学校の外で出会っても生徒が「エステラ先生」って声をかけてくれるのがうれしいです。

Q.中学生に言いたいことは？

A.英語をもっと勉強して！それにいろいろな言葉にもっと興味をもって欲しいですね。

＜インタビューを終えて＞

ブルンジについてもっといろいろ知りたいと思いました。キルンジン語も知りたいと思いました。

(川口京香)



インタビューをする川口さん(左)

マレーシアにいきます！

今年も8月14日から22日まで岩倉市中学生海外派遣事業で14人がマレーシアバハン州テメローに行きます。6月27日、28日に希望の家で事前研修合宿が行われました。合宿では、マレーシアで発表する出し物(日本食の紹介や歌、リコーダ)を決めたり、英語、マレーシア語のレッスン、ソーラン節の練習をしました。まだ、慣れないメンバーでの研修会でしたが、若い力でがんばっていきます。



カレー作りに挑戦する派遣メンバー

日本語教室からのお便り

日本語教室のスタッフとして外国人に日本語を教えている宮川卓也さんから日頃教室で外国人と接していて思うことを書いてもらいました。

私は大学で国際文化を勉強している宮川卓也です。私は毎週水曜日に公民館で行われている日本語教室で、外国人に日本語を教えています。ところで最近よく日本も国際化しつつあるとか、国際交流が盛んに行われるようになってきているとか言われますが、本当にそうでしょうか。たしかにそうかもしれません。しかしここでいう国際とは、「海外」のことだけのように私は感じます。なぜなら“海の外”の国に偏りがちだからです。この岩倉市は愛知県でも人口比の割合から見て外国人が多く住む都市です。しかしどれくらいの市民が彼らと交流をもっているのでしょうか。どれくらい彼らのことを知っているのでしょうか。私もまだ彼らのことをよくわかっていないひとりかもしれません。ですが、もういつ隣の家に外国の人が引っ越してきてもおかしくない時代です。在日外国人について日本のマスメディアは悪いことばかり伝えている傾向がありますが、そうではないということを理解なくはいけません。

私は日本語教室を通じて彼らの陽気さや、親しみやすさに気づくことができました。

最後に、私の願いは、日本語教室に来ている生徒さん達が仕事などで必要だからと日本語を勉強し、話すのではなく、自然に日本語でコミュニケーションをとりたくなる、またコミュニケーションがとれる街を、市を、県を、国を皆で作っていくことです。日本語教室に来ている生徒や、それ以外の外国人も日本人も、国籍に関係なく、助け合い、共に暮らせる社会になってほしいと思います。海外に目を向けることはよいことですが、たまには近くにある外国を知るのもどうでしょうか。



あいちワールド・フレンドシップ・フェスタのお知らせ

愛知万博の成功から早いものでもう4年も経ちました。一市町村一国フレンドシップ事業で、パートナーとなった相手国との交流を継承し、相手国の文化・生活を体験を交えて紹介する「あいちワールド・フレンドシップ・フェスタ」が下記のとおり開催されます。

県内各市町村が参加し、文化体験、食体験、民族舞踊などを紹介します。岩倉市ではキューバのパネル展示、サルサ・ダンス（体験タイム有）、キューバ映画の上映の他、キューバ料理を予定しています。今年の秋はぜひ会場で世界旅行気分をお楽しみください。

開催日 10月10日（土）、11日（日）の2日間

会場 愛・地球博覧記念公園

あなたのエッセイ待っています！

協会では、COMに掲載する原稿を募集しています。内容はご自分やご家族の海外生活での体験談や海外の人との交流で感じたことなど、何でもかまいません。

ただし、単なる紀行文や観光地の紹介はご遠慮ください。

【応募要領】 200字～800字程度 写真2～3枚程度を添付

【送付先】 事務局までご連絡ください

ふれ愛まつり、いっしょに盛り上げよう！

毎年11月に岩倉市総合体育文化センターでふれ愛まつりが開催されます。市内各サークルが出店し大いに賑わい、協会も世界の各地のお菓子や飲み物の販売をしています。今年は11月7日(土)・8日(日)に開催が予定されています。ふれ愛まつりを一緒に盛り上げてくれるスタッフを募集します。興味のある人は事務局までご連絡ください。

世界のお惣菜講師求む！

協会では年3回、市内および近隣市町にお住まいの外国人に講師になってもらい、その国の代表的な料理と一緒に作る企画「世界のお惣菜」があります。お知り合いやご近所に外国人がいれば講師として紹介してください。

または、こんな国の料理が食べてみたい、作ってみたいというリクエストでも結構です。

会員継続手続き及び新規会員募集のご案内

事業は会員の会費と岩倉市国際交流事業補助金で運営されています。会員継続手続きをされていない方は、下記へお振込みをお願いします。また新規会員も受け付けています。新規会員の申し込みは下記申込先、問合せ先にご連絡をお願いします。

会費振込先 いちい信用金庫愛北営業部 普通預金 1016300

口座名義人 岩倉市国際交流協会 内藤和子

会 費 家族会員3口(3千円)以上

問 合 先 内藤 (0587-66-7347) 中山 (0587-66-8573)

出野 (0587-37-2495) 堀尾 (090-3421-4088)

会報 COM第63号(2009年8月1日) 事務局 〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2(内藤方)

発行 岩倉市国際交流協会

TEL・FAX 0587-66-7347

印刷 大橋印刷

http://www.iies.info/